

住吉中学校ブロック第6回交通安全部会報告

1 開催日時、会場

平成24年7月3日（火）19:00～19:50 住吉小学校プレハブ2階会議室

2 議題

- 通学路の検証及び今後の通学路の検討
- Cルートを通学路指定について

3 協議結果

Aルート（別紙1参照）

- 2学期以降、別紙1の「ア」の区間を、見通しのよい「イ」の区間に変更する。
- 道路の幅員上、路側帯のカラー化が認められていない別紙1の「ウ」の区間については、引き続きカラー化の実現に向け、警察と協議を行う。

Bルート（別紙1参照）

- 別紙1の①及び②地点に1学期配置した交通誘導員については、2～3学期も配置するが、①の地点に配置している2名のうち1名を③の地点に配置換えを行う。
- 別紙1の「エ」の区間については、1学期の児童の通学状況を見て2学期以降の経路を判断することとしていたが、以下の理由により、2学期以降も現行どおりの経路とする。
 - ・②地点における交差点の横断が、交通誘導員や地域・PTAの見守りにより、特に支障なく行われていること。
 - ・②地点より百年橋通りへ北上した場合（橙色点線部分）、西側路側帯（幅員1m）に電柱が4本あり、通行する際は車道側にはみ出さざるを得ず、電線・通信事業者との協議を行ったが、早期の移設は困難との回答を得ていること。

雨水整備レインボープラン博多等に伴う通学路の対応（別紙2参照）

- 1学期中に別紙2の①の区間で下水道管更正工事が、また②の区間で浸透側溝整備のための試掘調査が行われたが、いずれも朝の登校時後の作業開始であり、また掘削を伴わないため下校時には歩行者専用誘導員を配置することにより、特に通学への支障は見られなかった。
- 夏休み期間中には、③のエリアにおいて、浸透側溝整備を行う予定だが、夏休み期間の実施のため通学への影響は生じない。
- 2学期には、④の区間において①と同じ下水道管更正工事が行われるが、1学期と同様の対応により、通学に支障はないため工事期間中もBルートを使用する。

○④の管更正工事後、⑤のエリアで浸透側溝整備の本工事が予定されており、重機等工事車両による通学路の一部占拠が見込まれることから、Bルートの当該部分における施工時期が判明次第、整備期間中の代替ルート（緑色区間例示）の設定について検討を行う。

なお、同工事でも、使い慣れた現在のBルートを安全に通学する方策についてもあわせて検討していく。

Cルートの通学路指定について（別紙3参照）

○Cルートの百年橋通り以南（別紙3のC1ルート）については、前述のとおり引き続き現行ルートを使用する。

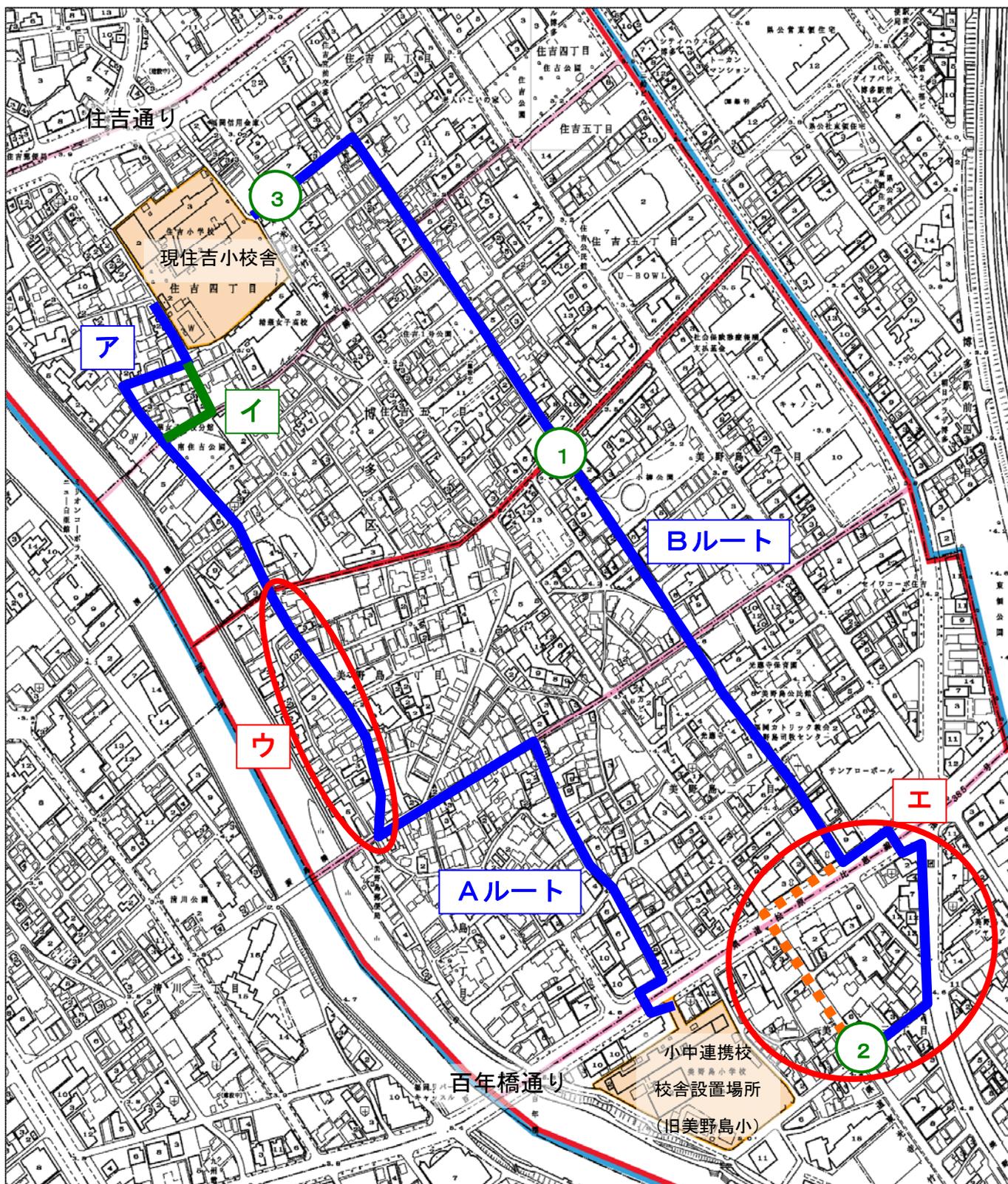
○住吉通りから百年橋通りの区間（別紙3のC2ルート）についても、交通量調査（別紙3参照）の結果を踏まえ、以下の理由により小学生の通学路として使用しないこととする。

- ・C2ルートの通学路の指定にあたっては交通量が多いため時間帯一方通行規制が必要だが、仮に「住吉通りから百年橋通り」への時間帯一方通行規制をした場合でも、C2ルートを南下する車両は200台であり（現Bルートの5倍）、さらに対面車両がなくなることで車両速度が増すと考えられること。
- ・また、時間帯一方通行規制により現在安全に通行できているBルートに相当数の車両流入が想定され、現在のBルートの安全性が低下すると考えられること。

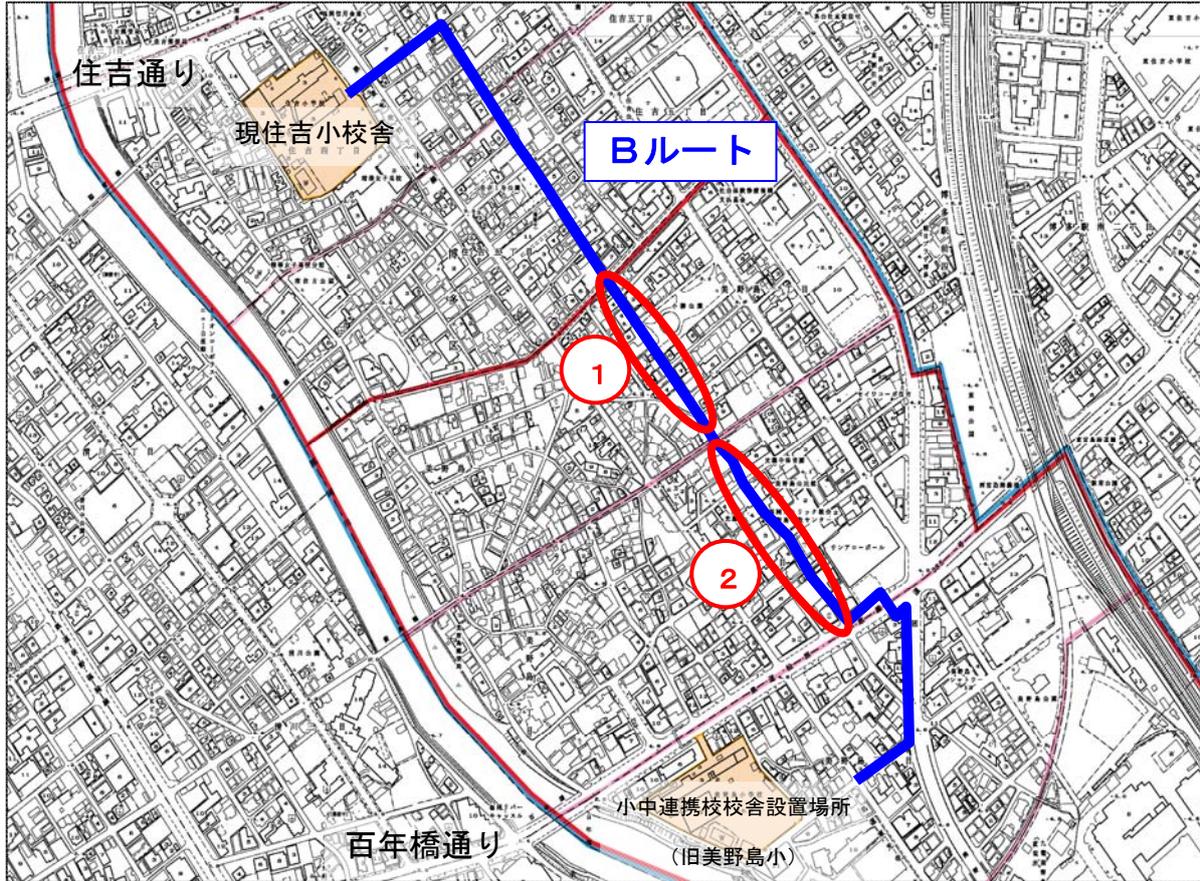
○なお、中学生は現在Cルートを使って通学している。小中連携校においては、本来小学校と中学校の通学路は同一であることが望ましいが、現在小学校と中学校は離れた場所に位置しており、小中学生の多くは校区を逆方向に通学していることから、平成27年度の新設校舎開校までの間、中学生については使い慣れたCルートを使い通学することとする。

4 添付資料

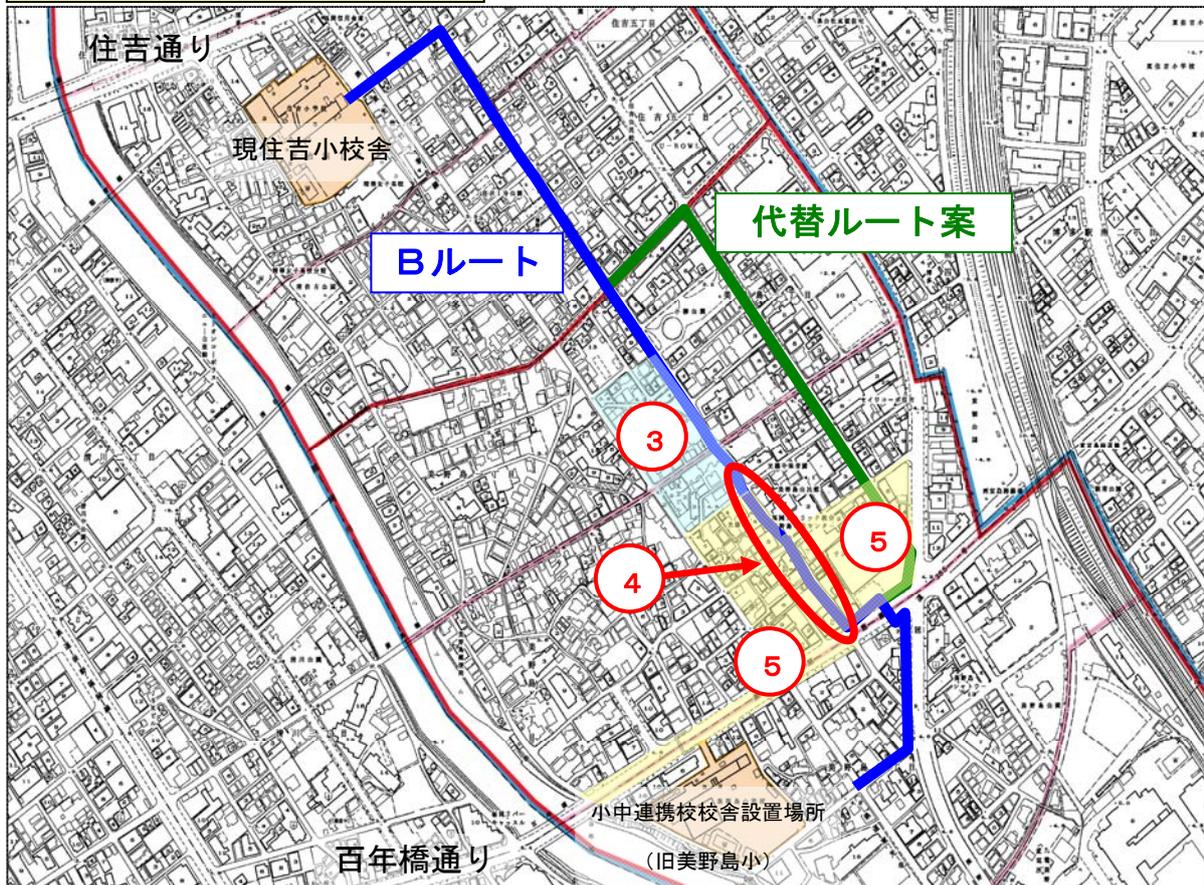
○第6回交通安全部会配付資料



1学期の整備状況



夏休み以降の整備予定



Cルート交通量調査結果【調査日：6/18(月) 調査時間：AM7時～AM9時】

①C2ルートの交通量

区間	C2ルート	Bルート
住吉通りから南下	200台	40台
百年橋通りから北上	350台	60台

②Bルート方面への車両の移動状況(下図参照)

福岡銀行前交差点から C2ルートへの進入車両数		350台
内訳		
地点		台数
①～②の区間でBルート方面へ進入した台数		80台
②地点でBルート方面へ進入した台数		110台
②～③の区間でBルート方面へ進入した台数		15台
③地点でBルート方面へ進入した台数		30台
計		235台

